

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
政治経済	2	3年1類AC型、3年3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		政治・経済 (東京書籍)	授業プリント等で教科書を補う

科目の到達目標

経済分野を中心に学習し、自らが主体的に社会にかかわっていく力を身につけさせる。
 時事的内容も取り上げ、現代社会への関心を高めることも目標にする。
 また、共通テスト受験者に対しては、基礎を抑えることの大切さを強調し、実際の問題にもあたらせる。

評価の観点と方法について

各単元目標が理解できているかどうかを中心に年間3回の定期考査を実施し、必要に応じて課題を出して提出させる。
 評価については、定期考査に加えて、三観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体性）から総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	現代の資本主義経済	経済の役割、資本主義経済の特質と問題点、資本主義経済の変容について学ぶ。	人間と経済活動 資本主義経済の発展と変容	授業中の興味・関心・態度
	5	現代経済のしくみ	社会主義経済について学ぶ。	社会主義経済の発展と変容	
			株式会社のしくみや企業の社会的責任について学ぶ。	経済活動の主体	
			市場経済のしくみを知り、市場における政府の役割を学ぶ。	市場経済のしくみ	
	6		インフレ・デフレのしくみと影響、物価安定政策について学ぶ。	物価の動向	ノート提出 期末考査
	7		ストック・フローの概念、国民所得と景気変動のしくみを学ぶ。	国民所得と経済成長	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	日本経済の発展と 現状 福祉社会と日本経 済の課題	財政の役割と租税の種類、また日本の財政の課題について学ぶ。	財政のしくみと租税	授業中の興味・関心・ 態度
	10		銀行の役割、金融政策について学ぶ。	金融のしくみと働き	
			戦後の日本経済・高度経済成長の特徴とその課題の特徴を学ぶ。	戦後日本経済のあゆみ	
			日本経済における農業と中小企業の役割、環境問題について学ぶ。	中小企業と農業・食料 環境問題	
	11		消費者問題と消費者保護	消費者問題と消費者の権利	ノート提出 期末考査
12	労働運動の歴史とその成果・労働問題の現状と課題について学ぶ。	労使関係と労働市場			
三 学 期	1		各国の社会保障制度とその課題について学ぶ。	少子高齢社会と社会保障	授業中の興味・関心・ 態度
	2				ノート提出 学年末考査
	3				
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 必要に応じて、入試対策として過去問・実践問題演習やプリント配布等を行う。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
政治経済	3	3年1類B型	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		政治・経済 (東京書籍)	授業プリント等で教科書を補う

科目の到達目標

経済分野を中心に学習し、自らが主体的に社会にかかわっていく力を身につけさせる。
 時事的内容も取り上げ、現代社会への関心を高めることも目標にする。
 また、共通テスト受験者に対しては、基礎を抑えることの大切さを強調し、実際の問題にもあたらせる。

評価の観点と方法について

各単元目標が理解できているかを定期考査で判断する。必要に応じて課題を出して提出させる。評価については、定期考査に加えて、三観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体性）から総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	現代の資本主義経済	経済の役割、資本主義経済の特質と問題点、資本主義経済の変容について学ぶ。	人間と経済活動 資本主義経済の発展と変容	授業中の興味・関心・態度
			社会主義経済について学ぶ。	社会主義経済の発展と変容	
	5	現代経済のしくみ	株式会社のしくみや企業の社会的責任について学ぶ。	経済活動の主体	ノート提出 中間考査
			市場経済のしくみを知り、市場における政府の役割を学ぶ。	市場経済のしくみ	
			インフレ・デフレのしくみと影響、物価安定政策について学ぶ。	物価の動向	
	6		ストック・フローの概念、国民所得と景気変動のしくみを学ぶ。	国民所得と経済成長	ノート提出 期末考査
	7				

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	日本経済の発展と 現状 福祉社会と日本経 済の課題	財政の役割と租税の種類、また日本の財政の課題について学ぶ。	財政のしくみと租税	授業中の興味・関心・ 態度
	10		銀行の役割、金融政策について学ぶ。	金融のしくみと働き	ノート提出 中間考査
			戦後の日本経済・高度経済成長の特徴とその課題の特徴を学ぶ。	戦後日本経済のあゆみ	
			日本経済における農業と中小企業の役割、環境問題について学ぶ。	中小企業と農業・食料 環境問題	
	11		消費者問題と消費者保護	消費者問題と消費者の権利	ノート提出 期末考査
12	労働運動の歴史とその成果・労働問題の現状と課題について学ぶ。	労使関係と労働市場			
三 学 期	1		各国の社会保障制度とその課題について学ぶ。	少子高齢社会と社会保障	授業中の興味・関心・ 態度
	2				ノート提出 学年末考査
	3				
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 必要に応じて、入試対策として過去問・実践問題演習やプリント配布等を行う。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
政治経済	2	Ⅱ類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		政治・経済 (東京書籍)	授業プリント等で教科書を補う

科目の到達目標

経済分野を中心に学習し、自らが主体的に社会にかかわっていく力を身につけさせる。
 時事的内容も取り上げ、現代社会への関心を高めることも目標にする。
 また、共通テスト受験者に対しては、基礎を抑えることの大切さを強調し、実際の問題にもあたらせる。

評価の観点と方法について

年2回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	・経済社会の変化	経済の役割、資本主義経済の特質と問題点、資本主義経済の変容について学ぶ。 社会主義経済について学ぶ。 株式会社のしくみや企業の社会的責任について学ぶ。	人間と経済活動 資本主義経済の発展と変容 社会主義経済の発展と変容	授業中の興味・関心・態度
	5	・経済主体と市場の働き	市場経済のしくみを知り、市場における政府の役割を学ぶ。 インフレ・デフレのしくみと影響、物価安定政策について学ぶ。	経済活動の主体 市場経済のしくみ	
	6		ストック・フローの概念、国民所得と景気変動のしくみを学ぶ。 財政の役割と租税の種類、また日本の財政の課題について学ぶ。	物価の動向 国民所得と経済成長 財政のしくみと租税 金融のしくみと働き	
	7		銀行の役割、金融政策について学ぶ。 戦後の日本経済・高度経済成長の特徴とその課題の特徴を学ぶ。	戦後日本経済のあゆみ	ノート提出 期末考査
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント

[illegible]